

# 高校生 ICT カンファレンス in 神奈川

## 生徒会 参加活動報告書

日時：8月24日(土)10:00~17:00

場所：岩崎学園情報科学専門学校 横浜西口2号館

参加者：生徒会1年 野村晃暉 川野夏 橋本葵

報告者：生徒会1年 野村晃暉

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



### ◆ 活動の意味と理由

- ①. 本校を代表し、高校生としての ICT の知識・技能を確かめる
- ②. ICT のリテラシーを高め正しい活用を考える
- ③. グループ討議を通じて、知識の確認しつつ、リーダー性を発揮し、思考、判断力を向上させる

### ◆ 活動内容

本来は上級生が参加し、グループ討議をリードし意見の集約に活躍されるべきだったと思いますが、当日が、「24時間テレビチャリティー募金ボランティア」の第1日目だったため、上級生たちは、チームリーダーとして外れることが出来ず、私たち1年生に出番が回ってきました。今回は、生徒会というよりも授業等で ICT 機材に多く触れるメンバーが選ばれたと思います。

私たち1年生としては、「かながわハイスクール議会 2019」に続く話し合いの場

#### プログラム

1. アイスブレイク
2. 昼食
3. グループ討議
4. 発表
5. 審議
6. 親睦会

が与えられました。生徒会を運営する上で意見をだし、結論をまとめる力は必要なことです。各チームについてファシリテーターは、県教育委員会の方や、NTT ドコモの研究者の方、このカンファレンスを主導する立場の方などそうそうたる人たちがつき、私たち高校生をリードして頂きました。ファシリテーターの方に導かれながら、高校生にとっての SNS について意見を交換し、議論を掘り下げる作業をし、最後には各グループの発表となり、全国サミットの代表者の選考をしました。

## ◆ 感想

始まってすぐに他校の方たちとシャッフルされてグループを作りました。知っている顔がないため、少し緊張しましたが、すぐに打ち解け、話し合いもスムーズに進みました。話し合いの内容は、SNS の良いところ、悪いところを出すところから始まりました。高校生でも出来るトラブルから対処する法や様々な SNS の使い方について



て討議しました。私が正しいと思っていたこと以外でも、グループのメンバーから色々な考え方が出され、私としても貴重な体験が出来ました。来年も機会があれば、ぜひ参加してみたいです。

**記：生徒会1年 川野 夏**

他校生との交流で、より多くの意見を聞くことが出来ました。私がいたグループにはアニメ、ゲーム好きが沢山いたので、かなり多方面からの知識を得ることが出来ました。私たちは、すでにインターネット環境がある状態に生まれてきたため、依存症やネットトラブルの恐怖をあまり知りません。ですから、こうして改めて話し合うことによってネットトラブルの恐怖や SNS トラブルに対しての対策を日常的に考えて行きたいです。また、このような活動は、多くの高校生が知るべきで、ぜひ、常識として広めて行きたいです。

**記：生徒会1年 野村晃暉**

私たち3人は、初めて1年生のみでイベントに参加しました。始めは、三浦学苑生でかたまっていたのですが、グループをつくる際、3人バラバラになりました。今回は、上級生がいないため、1年生だけの活動ということで心細くはありましたが、自己紹介をしている内に好きなものや趣味などが同じ人たちがいて、気さくに話が出来たので、一挙に距離が縮まったように感じました。

私としては討議の最初のうちには意見をなかなか出せませんでした。後半には、グループの人たちにつられる感じで、自分の意見を出せるようになりました。充実した討議になったのではないかと思います。全体を通じて ICT リテラシーは大切です。機会があれば、代表に選ばれるような意見を出したいと思っています。

**記：生徒会1年 橋本 葵**